



事業所名 放課後等デイサービスはてる ネット

公表日 令和6年12月23日  
実施期間 令和6年10月15日～10月29日

利用児童数 39  
回収数 33

	チェック項目	はい				どちらともいえない				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	8	0	3					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	27	1	0	5					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	0	0	8	活動に不自由があるとは思わないが、設備に関しては確認できていないので不明			事業所内を見ていただく機会が面談以外ほぼ無い為全ての保護者様からも同意をいただけます。日々の活動を見学する機会も設けていきたいと思ひます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	0	0	3					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31	1	0	1	本人はもちろん、家族の考えに沿った支援をしてくださっています。いつもありがとうございます。			ご意見いただきありがとうございます。全ての保護者様からも同意をいただけますよう日々精進して参ります。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32	1	0	0					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題を具体的に把握した上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32	0	0	1					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスがイテラティブに「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容に合わせた支援の必要項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	2	0	2					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31	1	0	1					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	1	0	2					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	15	3	6	9	11に関しては、他の事業所、教室のこのイベントなどで交流もありそのことを頂いた質問であれば、「はい」の回答になるかなと思います。工夫された活動内容で、現状は、本人も私も満足しています。			ご意見いただきありがとうございます。全ての保護者様からも同意をいただけますよう日々精進して参ります。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33	0	0	0					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	1	0	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	31	0	1	1					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	30	2	0	1					
保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	4	0	1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31	0	0	2					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援を行っているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がなされていますか。	27	3	1	2					
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのよう理解があることについて説明がなされ、相談や申し入れした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	1	0	4					
	20	こどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	1	0	2					
	21	定期的に運営やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	32	1	0	0					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	1	0	2					
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	2	1	10					
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	0	0	12					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	0	0	8					
	26	事故等（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がなされていると思いますか。	21	3	0	9					
	27	こどもは安心感をもつて通所していますか。	31	2	0	0	必ずるといふ居場所があるから学校にも行けています。先生方が常に子供に寄り添って下さり、本人の強い味方となってくれています。いつの間にかはてるは本人にとっての楽しく安らぐ居場所となっています。			貴重なご意見をいただきありがとうございます。これからも子供たちに寄り添い、安心できる場所をめざしていきます。	
放課後	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	29	4	0	0	年齢的にも近い子ども達同士で交流しながら、様々なプログラムを体験ができるので、子どもが通所を楽しみにしています。			貴重なご意見をいただきありがとうございます。これからも子供たちが楽しく学べるように精進していきます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	31	1	0	1	お出かけの企画も多く、いろいろな経験ができるので満足しています。			貴重なご意見をいただきありがとうございます。これからも子供たちのニーズに合わせた支援を提供していきます。	

事業所名		放課後等デイサービスばすてる ネクスト		公表日	令和6年12月23日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		送迎を行っている関係から遅延になってしまうことがあった。職員が不足している場合、他教室にサポートを依頼して対応していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1		二手に分かれた活動を行う際に隣の声が聞こえずぎてしまい、子どもたちの集中が切れてしまっていた。活動前に落ち着いた状態から始めていく。また、活動内容によっては近隣施設を使用していき、空間を分けた工夫をしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	週に1回のスーパーバイザーによる社内研修を受けている。外部研修にも積極的に参加している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1		適時、作成・公表するように努力しているが、まだ不十分だ。現在各教室をあげて本格的な支援プログラムを作成している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1		子どもに対するアセスメントをさらに充実していきたいと思えます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1		職員同士の共通理解がさらに深まるように日々のミーティングを通してさらに情報共有を深めていきたいと思っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1		職員同士の共通理解がさらに深まるように日々のミーティングを通してさらに情報共有を深めていきたいと思っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1		その日の職員全員がミーティングに参加できる時間を変更した。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0			
	関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
		27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
		28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	5	0		
		29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3		高齢児のため情報共有が小学校以上になることが多い。状況によっては情報共有も行っていき。
		30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3		前例がないため「いいえ」を選択した。今後、卒業生が出るため支援センターと連携して準備を行っていきたい。
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0			
32		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0			
33		(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		参加はできているが、より協力していきたいと思っている。	
34		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	四半期に1回外部講師を呼んで保護者勉強会開催や保護者と利用者会社見学会も開催し、利用生徒の特例子会社実習から就労支援も実施している。			
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0				
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	四半期に1回外部講師を呼んで保護者勉強会開催や保護者と利用者会社見学会も開催し、利用生徒の特例子会社実習から就労支援も実施している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	LINEやみらいダイヤリー、インスタグラムや、月利通信の配布など、日々の送迎時の口頭連絡だけでなく多方面から活動や事業所の動きを発信している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		地域の方を招く活動はできていない。今後、交流できるように関係を作っていく。
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	
47		業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		
49		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
51		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
53		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0			

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ぱすてる ネクスト			
○保護者評価実施期間	令和6年10月15日		～	令和6年10月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数)	34
○従業者評価実施期間	令和6年10月15日		～	令和6年10月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月30日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎週水曜日、年間38回スーパーバイザーによる虐待、身体拘束、衛生管理、業務改善など様々なジャンルの社内研修を受けている。 外部研修を月1～5回参加している。	研修日を設定して行う。	事業所内だけの考えにならないようにより専門的な外部研修に参加していく。
2	四半期に1回外部講師を呼んで保護者勉強会開催や保護者と利用者会社見学会も開催している。 利用生徒の特例子会社実習から就労支援も実施している。	ご利用者様や保護者様のその時々ニーズに応じて勉強内容を精査し、勉強会を開催している。	特例子会社だけでなく、幅広いジャンルの職業に触れられる機会を設けていく。
3	事業所内の様子や日々の活動をお伝えできるようにしている。	LINEやみらいダイアリー、インスタグラムや、月刊通信の配布など、送迎時の口頭連絡だけではなく多方面から活動や事業所の動きを発信している。	別角度からの情報発信を行い、事業所内の様子が伝わるように日々SNSであげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	二班に分かれた活動を行う際に隣の声が聞こえすぎてしまい、子どもたちの集中が切れてしまっていた。	遮るパーテーション等が不十分である。	活動前に落ち着いた状態から始めていく。また、活動内容によっては近隣施設を使用していき、空間を分けた工夫をしています。
2	外部連携が少ない。	子ども部会に参加はできているが、より協力していきたいと思っている。	毎月開催している子ども部会や研修に参加をし、関係を作っていく。
3	地域の方を招く活動ができていない。	コロナ過の時間が長く、地域交流に対する職員の意識が足りなかった。	買い物や職業体験を通して交流を増やしていく。今後、交流できるように関係を作っていく。